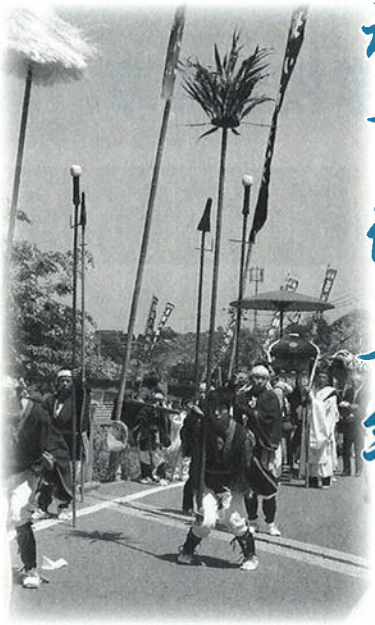
古式ゆかしく御幸行列練り歩く



伝統の衣装に身を包み、御幸行列を進める氏子たち

逢坂八幡神社例大祭

逢坂八幡神社の例大祭が5月4日（木）に行われ、多くの参拝者でにぎわいました。

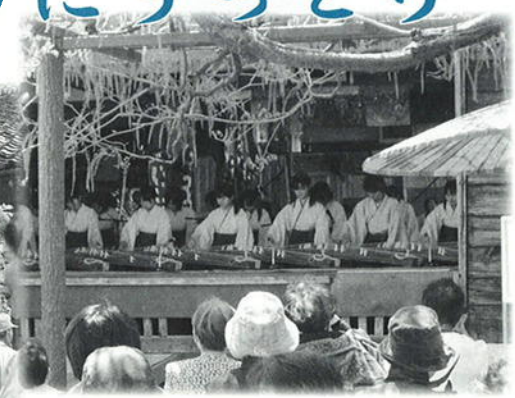
昼過ぎには「鳥毛、白毛」の華麗な舞を交えながら、神輿（みこし）が進む伝統の御幸（みゆき）行列が本殿から約400メートル先の御幸場まで練り歩き、沿道からは盛んな拍手が送られました。

また境内と御幸場では、神事のほか氏子の乙女たちが「浦安の舞」を神前に奉納。参拝者の注目を浴びていました。

優雅な「浦安の舞」を披露しました

藤の香りにうっとり

5月9日の藤の様子。満開はゴールデンウィーク明けのこの時期でした



5月3日藤祭り初日の様子
琴の音色が響きました

5月3日から6日にかけて住雲寺で藤まつりが行われ、約1万人の観光客で賑わいました。米子西高校の琴演奏や、お茶席があり、藤を眺めながら優雅なひとときを過ごしました。

安来市から訪れたご夫婦は、「毎年楽しみにしています。これだけ大きな藤の木はほかでは見られない。香りも楽しみの一つです」と暖かい陽気のなか、藤見物を満喫していました。

山菜てんぷらそばフェスタ

5月3日（祝）午前11時から、ふるさとフォーラムなかやまの四季彩園休憩所「さくら館」で、「山菜てんぷらそばフェスタ」が行われました。

このイベントは、中山まちづくり実行委員会に参加しているそば打ち同好会と山菜の会が合同で企画し、春に山菜、秋にはきのこと季節感あふれるそばを提供して今年で6年目になります。

本格的な打ちたて・揚げたての天ぷらそばは来場者に大好評で、コシアブラや頭変木（とうへんぼく）、ツルニンジンなどの珍しい山菜が並べられた会場は春の香りに包まれました。